**広州市の概要**

　広州市は、広東省中部の南海に面した珠江デルタの中央部に位置し、人口は約１，８８２万人、面積は約７，４３５ｋ㎡です。

　気候は、亜熱帯モンスーン気候に属し、酷暑も厳冬もなく、年平均気温は２１．７℃、年間降水量は１，９８２㎜、平均湿度は７７％で、日照時間が長く、四季を通じて緑が豊かで花々が咲き乱れ、「花城」とも呼ばれています。

　広州は、２２００年を超える歴史や文化を誇る中国でも有数の古都であり、西暦２２６年に呉の孫権が合浦郡以北を分割して広州としたことからその名を得ました。

　遠く秦代から中国の南の玄関口、そして「海のシルクロード」の出発点として嶺南地区の政治、軍事、経済、文化の中心地として栄え、中国の南大門として広く知られており、中国南方の重要な通商都市、交通の要衝、港湾都市であり、華南地区最大の国際的貿易港として、世界の１３０以上の国と地域に通じています。

　１９７８年にスタートした改革開放政策により、１９８４年に世界の注目を集めた都市として広州経済技術開発区が設置され、華南地区だけでなく全国沿岸地区の中でも極めて重要な経済都市として発展を続けています。

　毎年２回、中国輸出商品交易会が開催され、開期中、毎回２００以上の国と地域から２８万人以上のビジネスマンが広州を訪れています。

　国際文化都市として、福岡市をはじめとする３８都市と友好都市を締結し交流を行っているほか、大分市をはじめ多くの都市と友好的な交流を行っています。